

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2004-307450(P2004-307450A)

【公開日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-043

【出願番号】特願2003-136581(P2003-136581)

【国際特許分類】

C 0 7 C 5/333 (2006.01)

C 0 7 C 11/09 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 5/333

C 0 7 C 11/09

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月7日(2006.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 約400 から700 の温度、約0.1から約10気圧の圧力において分子状酸素の存在下で、アルカンと酸素のモル比を約1:0.0001から1:0.04にて、アルカンを10～20重量%のクロムを含むクロム系脱水素触媒と接触させることを含む、アルカン脱水素方法。

【請求項2】 前記アルカンがイソブタンである、請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記触媒がクロムを12～18重量%含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】 当該アルカンがイソブタンであり、当該温度が約500 から約650 である、請求項3記載の方法。

【請求項5】 当該アルカンがイソブタンであり、当該温度が約560 から約600 である、請求項3記載の方法。

【請求項6】 当該アルカン脱水素を固定床触媒、移動床触媒または流動床触媒において実施する、請求項1記載の方法。

【請求項7】 前記の接触は不活性希釈剤の存在下で行う、請求項1記載の方法。

【請求項8】 当該アルカンがイソブタンであり、当該不活性希釈剤がメタン、エタン、プロパン、窒素または蒸気を含む、請求項7記載の方法。

【請求項9】 前記の接触はメタン、エタン、プロパン、窒素または蒸気の存在下で行う、請求項4記載の方法。

【請求項10】 前記の接触はメタン、エタン、プロパン、窒素または蒸気の存在下で行う、請求項5記載の方法。

【請求項11】 当該アルカンと酸素のモル比は約1:0.001から1:0.04である、請求項1記載の方法。

【請求項12】 当該アルカンと酸素のモル比は約1:0.01から1:0.035である、請求項1記載の方法。

【請求項13】 当該アルカンと酸素のモル比は約1:0.01から1:0.035である、請求項4記載の方法。

【請求項 14】 前記触媒中のクロムの量に対する酸素存在量は、当該触媒中のクロムのグラム当たり酸素約 0.0001 から 0.001 モルである、請求項 3 記載の方法。

【請求項 15】 前記触媒中のクロムの量に対する酸素存在量は、当該触媒中のクロムのグラム当たり酸素約 0.0002 から 0.0008 モルである、請求項 4 記載の方法。

【請求項 16】 前記触媒中のクロムの量に対する酸素存在量は、当該触媒中のクロムのグラム当たり酸素約 0.0001 から 0.001 モルである、請求項 5 記載の方法。

【請求項 17】 前記触媒中のクロムの量に対する酸素存在量は、当該触媒中のクロムのグラム当たり酸素約 0.0001 から 0.001 モルである、請求項 12 記載の方法。